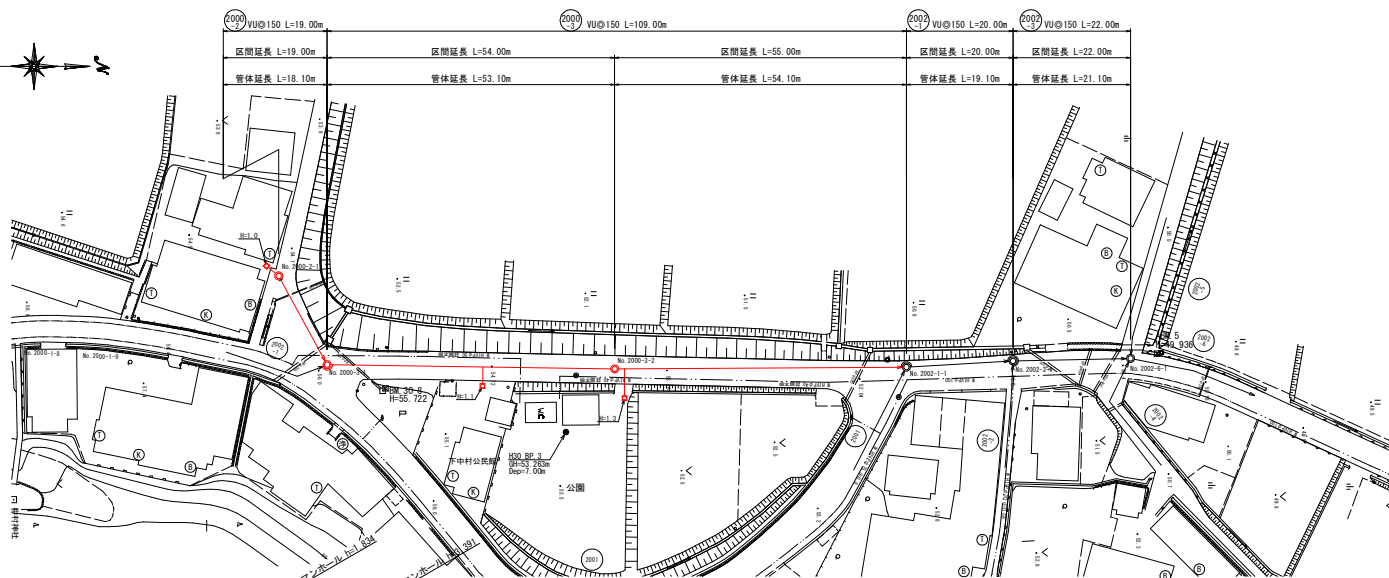


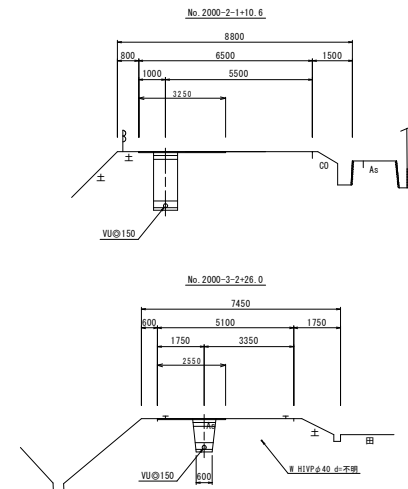
平面図
S=1:500



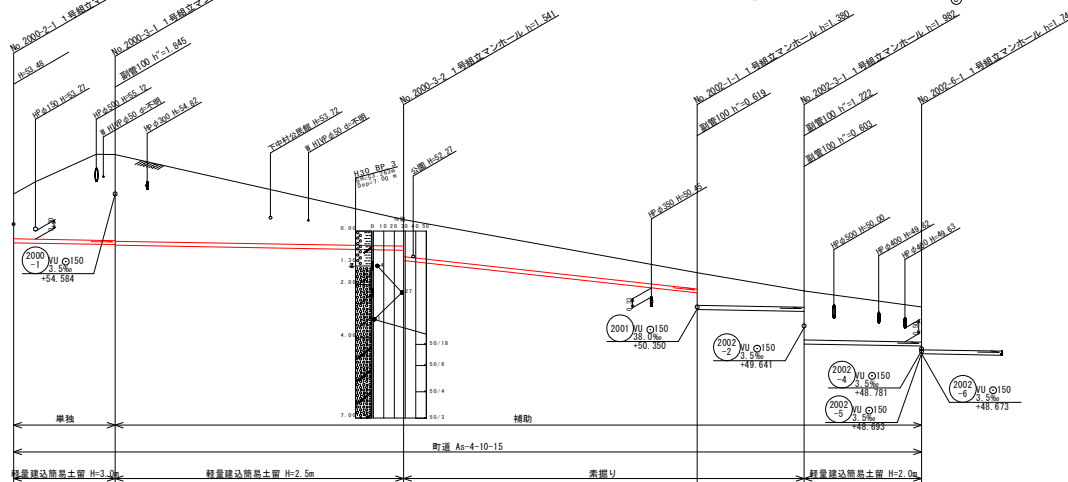
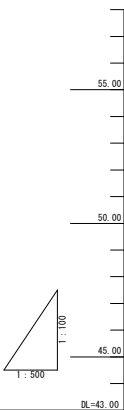
凡	例
→	実施路線
- - -	計画路線
→	既設路線
●	塩ビ製小型マンホール
○	レジン製小型マンホール
○	橋門組立マンホール
○	O号組立マンホール
○	1号組立マンホール
○	副管付マンホール
○	マンホールポンプ
○	汚水樹 (標準・塩ビ製蓋)
○	汚水樹 (標準・防護ハット)
○	汚水樹 (ドロップ・塩ビ製蓋)
○	汚水樹 (ドロップ・防護ハット)
—	水道管
—	N T T ケーブル
—	中電ケーブル



標準断面図
S=1:100



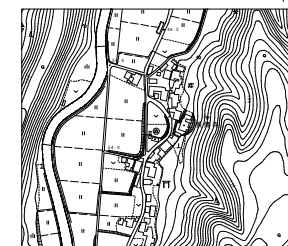
縦断面図
V=1:100
H=1:500



施工時の注意点

- ・汚水拵設置位置は、施工前に再度確認すること
- ・地下埋設物は、資材資料・現地で止水弁を確認し平面図に記入しているが、不明の箇所について確認、補修を行うこと
- ・コンクリート舗装部の復旧方法については、施工前に発注者と協議を行うこと
- ・施工時の車両通行は、片側交互通行を基本とするが通行止めが必要な場合は地区内に通知すること。

位置図
S=1:5,000



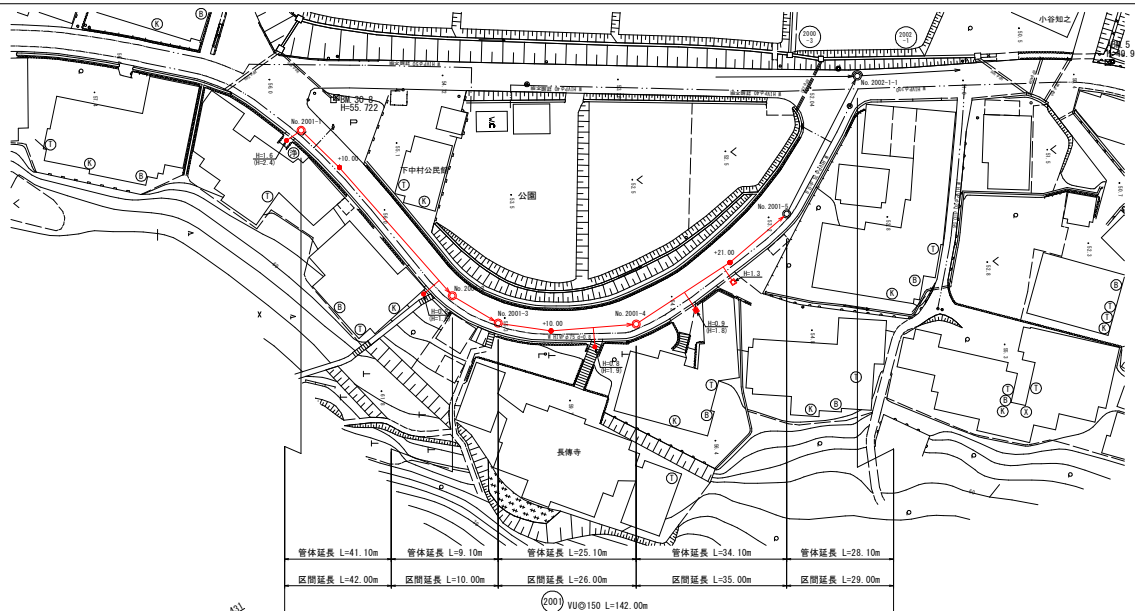
※地下埋設物の位置については、試掘等で確認すること。

管 番 号	2000-2	2000-3	2002-1	2002-3
管 径 (mm)	VU150			
勾 配 (%)	3.5			
延 長 (m)	19.00	109.00	20.00	22.00
地 盤 高 (m)	54.66	56.13	51.71	51.02
土 被 り (m)	1.69	3.21	0.60	0.60
計画管底高 (m)	-52.826	-52.733	-50.949	-50.203
掘 削 深 (m)	1.94	3.49	0.87	0.60
追加距離 (m)	0.00	19.00	128.00	148.00
単 距 離 (m)	0.00	54.00	20.00	22.00
測 点	2000-2-1	2000-3-1	2000-3-1	2000-4-1

平面図
S=1:500

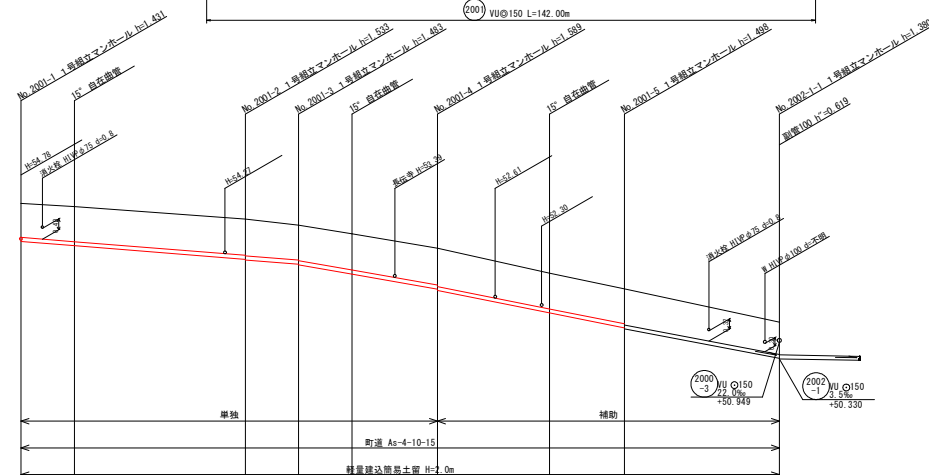
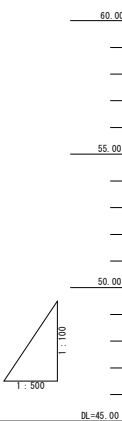


凡 例	
	実施路線
	計画路線
	既設路線
	塩ビ製小マンホール
	レジン製小マンホール
	橋門組立マンホール
	O号組立マンホール
	1号組立マンホール
	副管付マンホール
	マンホールポンプ
	汚水樹 (標準・塩ビ製蓋)
	汚水樹 (標準・防護ハット)
	汚水樹 (ドロップ・塩ビ製蓋)
	汚水樹 (ドロップ・防護ハット)
	水導管
	N T T ケーブル
	中電ケーブル



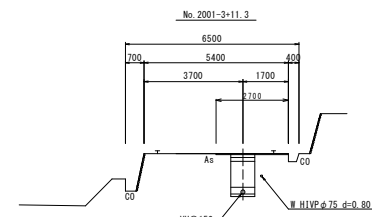
管体延長 L=41.10m	管体延長 L=9.10m	管体延長 L=25.10m	管体延長 L=34.10m	管体延長 L=28.10m
区間延長 L=42.00m	区間延長 L=10.00m	区間延長 L=26.00m	区間延長 L=35.00m	区間延長 L=29.00m
(200) VU@150 L=142.00m				

縦断面図
V=1:100
H=1:500



管 番 号	2001				
管 径 (mm)	VU@150				
勾 配 (%)	16.0				
延 長 (m)	142.00				
地 盤 高 (m)	2001-1 +0.00	2001-2 +32.00	2001-3 +10.00	2001-4 +16.00	2001-5 +14.00
土 被 り (m)	1.27	1.36	1.31	1.38	1.34
計画管底高 (m)	-54.729	-54.057	-53.827	-52.851	-51.452
掘 削 深 (m)	1.54	1.64	1.57	1.64	1.61
追加距離 (m)	0.00	42.00	52.00	78.00	113.00
単 距 離 (m)	0.00	10.00	10.00	16.00	14.00
測 点	2001-1	2001-2	2001-3	2001-4	2001-5

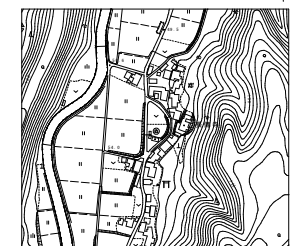
標準断面図
S=1:100



施工時の注意点

- 汚水排設置位置は、施工前に再度確認すること。
- 地下埋設物は、読み資料・図面では水害を確認し平面図に記入しているが、不明の箇所については、掘削等を行うこと。
- コンクリート舗装前の復旧方法については、施工前に発注者と協議を行うこと。
- 施工時の車両通行は、片側交互通行を基本とするが通行止めが必要な場合は地区内に周知すること。
- 2001路線については、現状と水害に確認しているが、掘削に支障はないと思われる。経済性を最重視して、現在の配置とした。掘削の施工時には、土質状況を確認の上、必要に応じて設計の変更を行う。

位置図
S=1:5,000

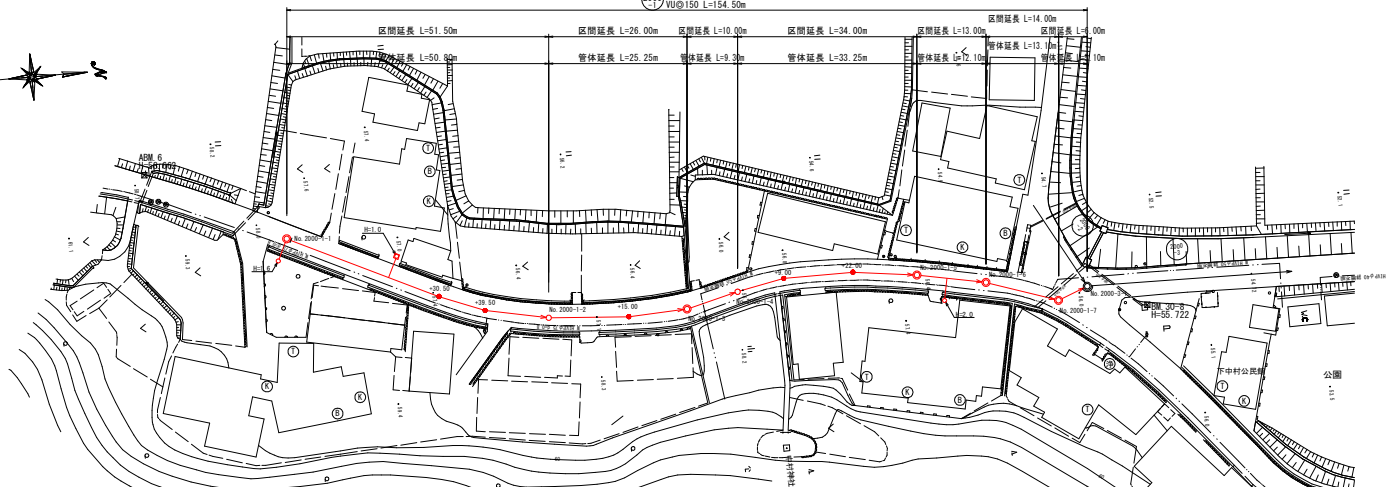


※地下埋設物等の位置については、試掘等で確認すること。

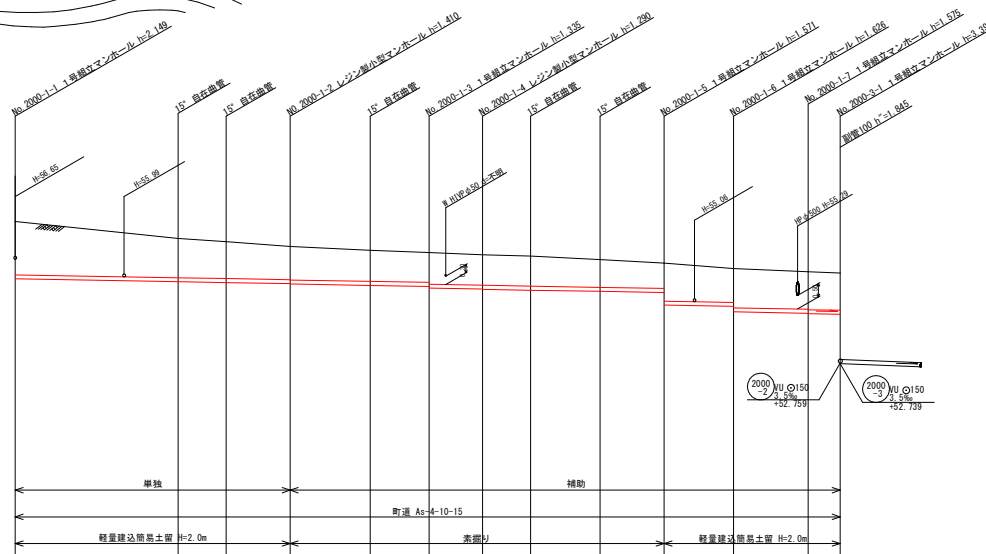
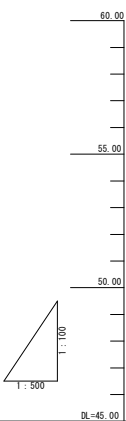
位 置	等 浦 町 大 字 中 村		
工 事 名	特選中村地区 (32-2工区) 工事		
図 名	平面図・縦断面図・標準断面図・位置図		
単 位	m	縮 尺	図 示
全 3 葉 中 / 2			
令和 2 年度 施行			

平面図
S=1:500

凡 例	
	実施路線
	計画路線
	既設路線
	塩ビ製小型マンホール
	レジン製小型マンホール
	橋門組立マンホール
	O号組立マンホール
	1号組立マンホール
	副管付マンホール
	マンホールポンプ
	汚水樹 (標準・塩ビ製)
	汚水樹 (標準・防護ハット)
	汚水樹 (ドロップ・塩ビ製)
	汚水樹 (ドロップ・防護ハット)
	水道管
	N T T ケーブル
	中電ケーブル

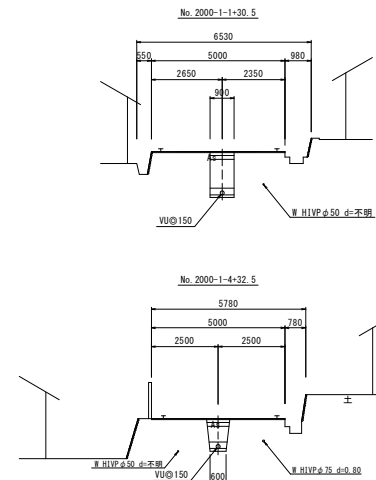


縦断面図
V=1:100
H=1:500



管 番 号	2000-1									
管 径 (mm)	VUφ150									
勾 配 (%)	3.5									
延 長 (m)	154.50									
地 盤 高 (m)	2000-1-1	2000-1-2	2000-1-3	2000-1-4	2000-1-5	2000-1-6	2000-1-7	2000-1-8	2000-1-9	2000-1-10
土 被 り (m)	1.99	1.99	1.99	1.99	1.99	1.99	1.99	1.99	1.99	1.99
計画管底高 (m)	56.04	56.04	56.04	56.04	56.04	56.04	56.04	56.04	56.04	56.04
掘 削 深 (m)	0.00	2.26	2.26	2.26	2.26	2.26	2.26	2.26	2.26	2.26
追加距離 (m)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
単 距 離 (m)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
測 点	2000-1-1	2000-1-2	2000-1-3	2000-1-4	2000-1-5	2000-1-6	2000-1-7	2000-1-8	2000-1-9	2000-1-10

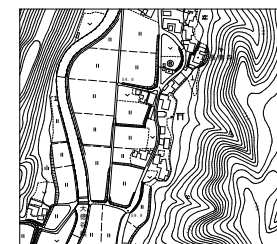
標準断面図
S=1:100



施工時の注意点

- 汚水拵設置位置は、施工前に再度確認すること。
- 地下埋設物は、資材・資機材・現地で止水弁を確認し平面図に記入しているが、不明の場合は、事前に調査を行うこと。
- コンクリート舗装部の復旧方法については、施工前に発注者と協議を行うこと。
- 施工時の車両通行は、片側交互通行を基本とするが通行止めが必要な場合は地区内に通知すること。

位置図
S=1:5,000



※地下埋設物等の位置については、試掘等で確認すること。

位 置	等 浦 町 大 字 中 村		
工 事 名	特選中村地区 (32-2工区) 工事		
図 名	平面図・縦断面図・標準断面図・位置図		
単 位	m	縮 尺	図 示
全 3 葉 中 ノ 3			
令和 2 年 度 施 行 等 浦 町			